

県民の安全・安心の確保

【健康で安心できる食の確保】

2005年度は、食の安全・安心県民会議やかながわ食の安全・安心シンポジウムを開催しました。また、食品表示ウォッチャーの増員による食品表示の監視や、食品添加物、残留農薬、遺伝子組換え食品などの検査を強化するとともに、大規模な食品調理施設や食品製造施設の監視指導を強化しました。

2006年度も引き続き、同様の取組みを行います。 (保健福祉部、環境農政部)

【衛生的な生活環境の確保】

2005年度は、公衆浴場や旅館などの入浴施設に対する立入検査時に、関係条例に規定される衛生措置の基準の遵守状況について確認を行うとともに、自主衛生管理が推進されるよう事業者への指導を行いました。また、市町村や関係機関の協力のもとに動物フェスティバル神奈川、動物愛護のつどい、犬のしつけ教室、各種講習会などの開催を通して、動物愛護思想の普及、適正飼養の推進に努めました。

2006年度も引き続き事業者による自主衛生管理を推進するとともに、動物愛護に関しては関係機関と連携してイベントや講習会、協議会などを開催するとともに、新たに動物愛護管理推進計画の策定を進めます。

(保健福祉部)

主な施策・
事業体系

【安全で安心できる消費生活などの確保】

2005年度は、消費者被害の未然防止と救済を図るため、かながわ中央消費生活センターにおいて、法律相談や技術的な専門知識を必要とする相談などを行うことにより、市町村の相談業務を支援するとともに、県とNPO*が協働して、週末消費生活相談などを実施しました。さらに、事業者への指導とあわせて、架空請求のトラブルでは、事業者名の公表を行うなど、消費者への注意喚起も行いました。また、ヤミ金融業者による被害の未然防止などのため、ヤミ金融対策連絡会議を通じ、新聞社・出版社に対する貸金広告にかかるアンケート調査の実施とその結果に基づく関係団体への要請などを行いました。

2006年度も、引き続き同様の取組みを行うとともに、新たな啓発事業として高齢者福祉関係団体などの希望に応じて講師を派遣する出前講座を実施します。 (県民部、商工労働部)

【都市の安全性の向上】

2005年度は、地震時に応急活動拠点などとなる防災上重要建築物27棟の耐震診断を行うとともに、新たに武蔵工業大学原子力研究所が原子力災害対策特別措置法に基づく原子力事業者に指定されたことに伴い、モニタリングポストによる同研究所周辺的环境放射線の常時測定及び監視を開始しました。また、石油コンビナート防災アセスメント調査を実施し、コンビナート区域で想定される災害の特定を行い、必要な防災対策の優先度などの検討を行いました。さらに延焼防止や避難地などの防災機能を有する都市公園や、災害時に各種応急対策活動を迅速かつ円滑に行うための緊急輸送路などの整備を行いました。

2006年度も引き続き、防災上重要建築物24棟の耐震診断を行います。また、防災アセスメント調査の結果を基に、具体的な防災対策などの調査及び検討を行い、神奈川県石油コンビナート等防災計画の修正を行います。さらに、防災機能を有する都市公園や緊急輸送路などの整備を進めていきます。 (安全防災局、県土整備部)

【自然災害に強いまちづくり】

2005年度は、都市化の著しい地域を流れる、近年洪水被害を受けた河川について、1時間当たり概ね50mmの降雨に対応できるよう、河川環境に配慮しながら重点的に改修を行いました。また、急傾斜地崩壊危険地域において、大雨などによるがけ崩れ災害から県民を守るための防止施設の整備を行いました。さらに、農業被害や浸水被害などを未然に防止するため、老朽化した農業用取水堰や農業用水路などの改修を行いました。

2006年度も引き続き、同様の取組みを行います。 (県土整備部、環境農政部)

【災害時応急活動体制の確立】

2005年度は、自衛隊、消防、警察の応援部隊の活動に必要な広域防災活動備蓄資機材を整備したほか、県民に身近な市町村の地震防災対策への支援や自主防災組織、災害ボランティアなどへの支援を行い、地域防災力の向上を図りました。あわせて、災害時の道路整備体制を強化するため、道路の応急復旧用備蓄基地の整備を進めました。

2006年度も引き続き、道路の応急復旧用備蓄基地の整備などの同様な取り組みを行っていくほか、南関東地域における地震又は東海地震を想定した八都県市合同防災訓練を実施します。（安全防災局、県土整備部）

【災害時医療システムの充実強化】

2005年度は、災害時の医療救護活動を円滑に行うため、訓練や研修の実施などにより医療救護体制の充実を図りました。

2006年度も引き続き、災害時医療救護体制の整備などを推進します。（保健福祉部）

【変化する社会情勢に対応した安全・安心の確保】

2005年度は、犯罪のない安全・安心まちづくりを県民総ぐるみ運動として推進するため、神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり推進協議会の設立や自主防犯活動団体に対する助成制度の創設を行いました。また、市町村、関係機関などと連携、協力しながら、神奈川県国民保護計画を策定しました。

2006年度は引き続き、県民総ぐるみ運動を推進するとともに、自主防犯活動団体のネットワーク化や犯罪に強いまちづくりに向けたモデル事業に取り組みます。また、神奈川県国民保護計画の実効性を検証するための図上検討会や市町村の国民保護計画作成への支援などを行います。（警察本部、安全防災局）

【身近な犯罪に対する警察活動の充実】

2005年度は、警察官の事件現場への到着時間短縮と緊急配備などにおける効果的な検挙活動を行うため、交番などに配置された小型警ら車に車載無線機などを整備し通信指令室やパトカーとの連携を強化しました。また、交番において乗り物盗の被害届、地理案内、拾得物の受理などを行い、警察官不在時の業務を補完する交番相談員を150人増員し、空き交番対策を強化しました。

2006年度も引き続き、空き交番の解消に向けて、交番相談員を183人増員するほか、ヘリコプターの更新による空の機動力の確保など、事件事故に即応できる体制の強化に取り組んでいきます。（警察本部）

【厳しさを増す犯罪情勢への取組み】

2005年度は、刑事部に組織犯罪対策本部を設置し、犯罪組織に係る情報を一元的に集約・分析するなど、犯罪組織の壊滅に向け、組織犯罪対策を強化しました。また、街頭犯罪等抑止総合対策や繁華街対策を継続し、街頭における制服警察官の警戒・検挙活動を強化しました。

2006年度も引き続き、体感治安を悪化させている殺人や強盗などの重要犯罪*、空き巣やひったくりなどの重要窃盗犯*、さらには、振り込め詐欺などの身近な知能犯罪の検挙活動を推進するとともに、治安悪化の要因ともなっている暴力団犯罪や来日外国人犯罪、これらの犯罪組織が根深く結びついている薬物・銃器犯罪などの取締りを強化するなど、組織犯罪対策に取り組んでいきます。（警察本部）

【安全で円滑な交通環境の確立】

2005年度は、県民の交通安全意識を高め、安全で住みよい社会を実現するため、交通安全県民運動を推進するとともに、くらし安全指導員などによる幼児から高齢者を対象とした交通安全教室を広く開催したほか、指定路線において交通指導取締り、交通安全施設の整備、沿線事業所対策などを実施する「2005かながわセーフティロード対策」や自転車マナーアップ運動を通じた自転車の交通事故防止対策の推進、あんしん歩行エリアにおける信号機の歩車分離化などの総合的な交通事故防止対策を推進しました。

2006年度は、引き続き交通安全県民運動の推進や交通安全教育の実施など総合的な交通事故防止対策を推進するほか、新制度導入に伴う違法駐車対策の強化や相模原北警察署における更新免許証の即日交付、運転免許試験場の日曜日における普通免許学科試験の試験実施など、県民の要望、期待に応える活動を行います。また、歩道の整備、交差点の改良、ガードレールの設置などの道路整備や道路標識・標示などの交通安全施設の整備を行います。（警察本部、安全防災局、県土整備部）

【県民の安全を守る警察活動基盤の整備】

2005年度は、警察力を向上するため、警察官を240人増員したほか、相模原北警察署新築工事などの警察施設整備を行いました。また、電子申請・届出システムを構築し、遺失届などの行政手続きをオンライン化し、県民サービスの向上を図りました。

2006年度も引き続き、警察力向上のため、警察官を240人増員するほか、幸警察署の移転建替えや中原警察署の建替え工事、警察学校生徒寮の建替え及び証拠品保管施設の新築工事などの警察施設整備に取り組みます。また、高度情報化社会への対応として交番、駐在所へのネットワーク化を推進します。(警察本部)

【基地の整理・縮小・返還・周辺対策の促進】

2005年度は、関係自治体と連携しながら、各種協議会を通じた要請活動などにより、米軍基地の整理、縮小及び返還の働きかけを行い、小柴貯油施設の陸地部分の全域及び水域の一部返還が実現しました。また、米軍基地周辺住民の良好な生活環境を確保するため、厚木基地周辺の騒音問題など、基地に起因する様々な問題に取り組み、国による厚木基地周辺の住宅防音工事区域の見直しが行われ、対象面積で約1,500ヘクタール、世帯数で約51,000世帯が増加することになりました。さらに、在日米軍再編については、国に地元意向の尊重及び地元負担の軽減を働きかけるとともに、日米地位協定については、見直しを行うよう国や政党に働きかけました。

2006年度も引き続き、基地問題に関する庁内会議を設置するなど、基地の整理・縮小・返還を基本として、積極的に取り組んでいきます。(企画部)